

【根室振興局産業振興部農村振興課だより】

## 根室地区環境保全会の植樹活動に参加

令和4年5月23日（月）、根室地区環境保全会の主催で、別当賀川支流湖南川沿い（根室市湖南地区）約0.5haに、ヤチダモ、キハダ合わせて1,000本となる植樹が実施されました。今回は、シェルターの設置に協力しましたが、シェルターはシカの食害防止に効果があるとされ、作業方法について説明を受けました。

植樹は平成28年度から計画的に進められており、昨年のコロナ禍による中止を含み今年で7回目。また、開催にあたっては新型コロナウイルス感染拡大防止に十分配慮し、作業人数を絞るなどの対応がとられました。

「根室地区環境保全会」は、平成26年度に根室市内の農業者や地域住民、JAなどが中心となって構成された組織で、農地・水路・農道等の地域資源や農村環境の保全を図ることを目的に幅広く活動を展開しています。

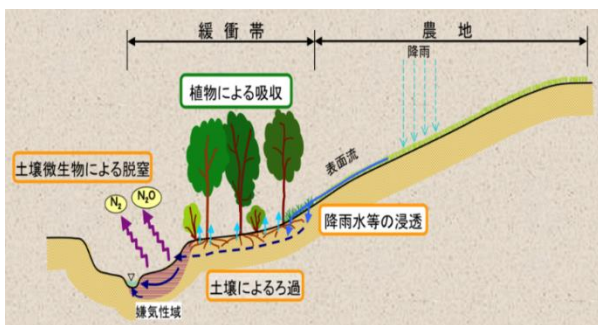
「根室農村環境保全植林計画（R1～R5）」に基づき、林地帯を適正に管理する取組であり、農地と河川が隣接する際「水辺緩衝林帯」として、降雨の地下浸透・汚濁水のろ過など、河川の水質を保全する効果が期待されています。



作業方法について真剣に聞き入る参加者



ツリーシェルターを設置



水辺緩衝林帯の果たす役割  
(道水産林務部「樹林の水質浄化効果について」より抜粋)

本年度は、7名の職員が参加し、無事に大きく育つようお願いしながら、シェルターを1本1本丁寧に設置していきましました。

### 参加者の声

「改めて、環境との調和に配慮や持続可能な開発目標(SDGs)を体感できる貴重な機会でした。」

参加した皆さん、大変お疲れ様でした。

農村振興課では、草地整備を中心とした農業農村整備事業を実施しており、地域の自然環境と調和した事業を推進しています。

植樹により、良好な河川環境が維持され、水辺環境の保全・農地が有する多面的機能の発揮が期待されます。



最後に職員7名で記念撮影